

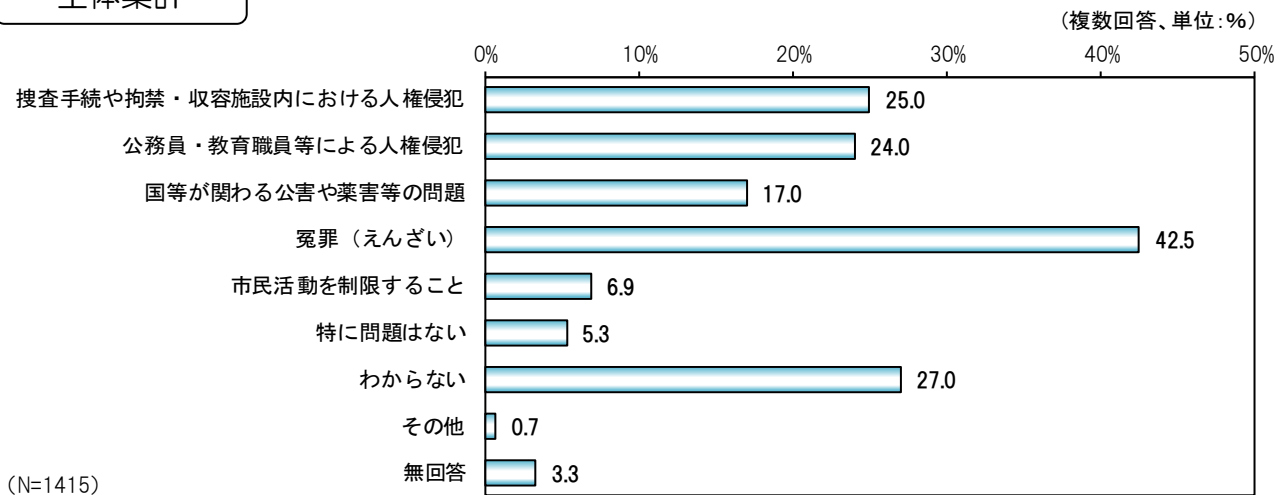
## 2. 公権力と人権について

### 問6 公権力に関する人権上の問題点

あなたは、公権力の行使にあたり、現在、人権上特に問題となっているのはどのようなことだと思いますか。次の中から選んでください。(〇は3つまで)

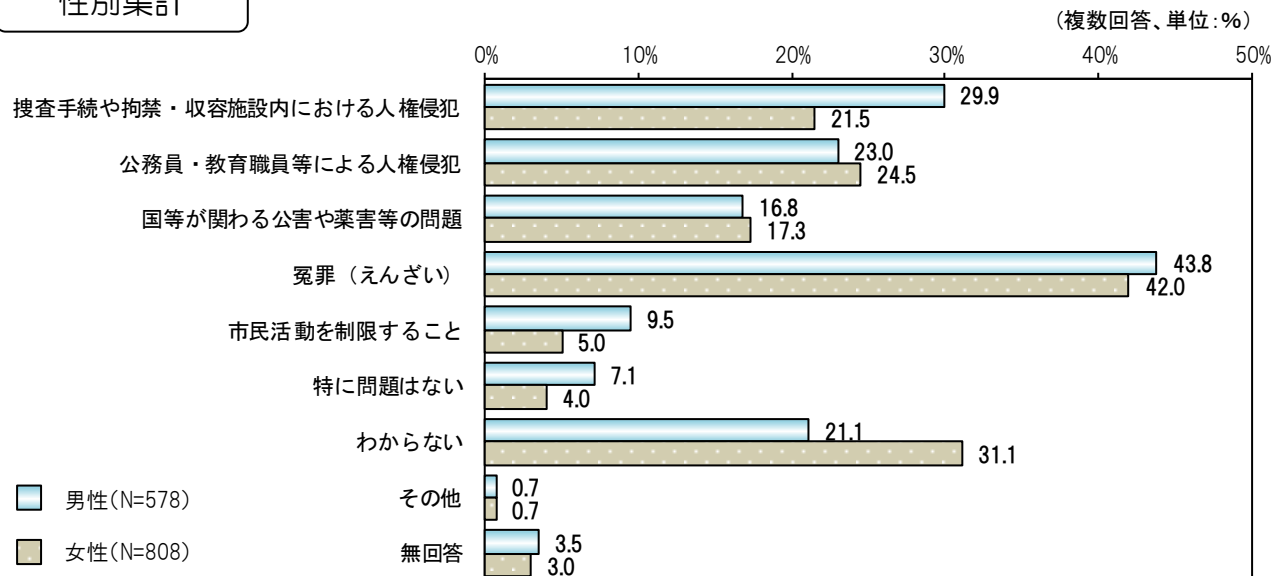
1. 捜査手続や拘禁・収容施設内における人権侵犯
2. 公務員・教育職員等による人権侵犯
3. 国等が関わる公害や薬害等の問題
4. 冤罪(えんざい)
5. 市民活動を制限すること
6. 特に問題はない
7. わからない
8. その他( )

#### 全体集計



「冤罪(えんざい)」の割合が42.5%と最も高く、次いで「わからない」が27.0%、「捜査手続や拘禁・収容施設内における人権侵犯」が25.0%となっている。

#### 性別集計

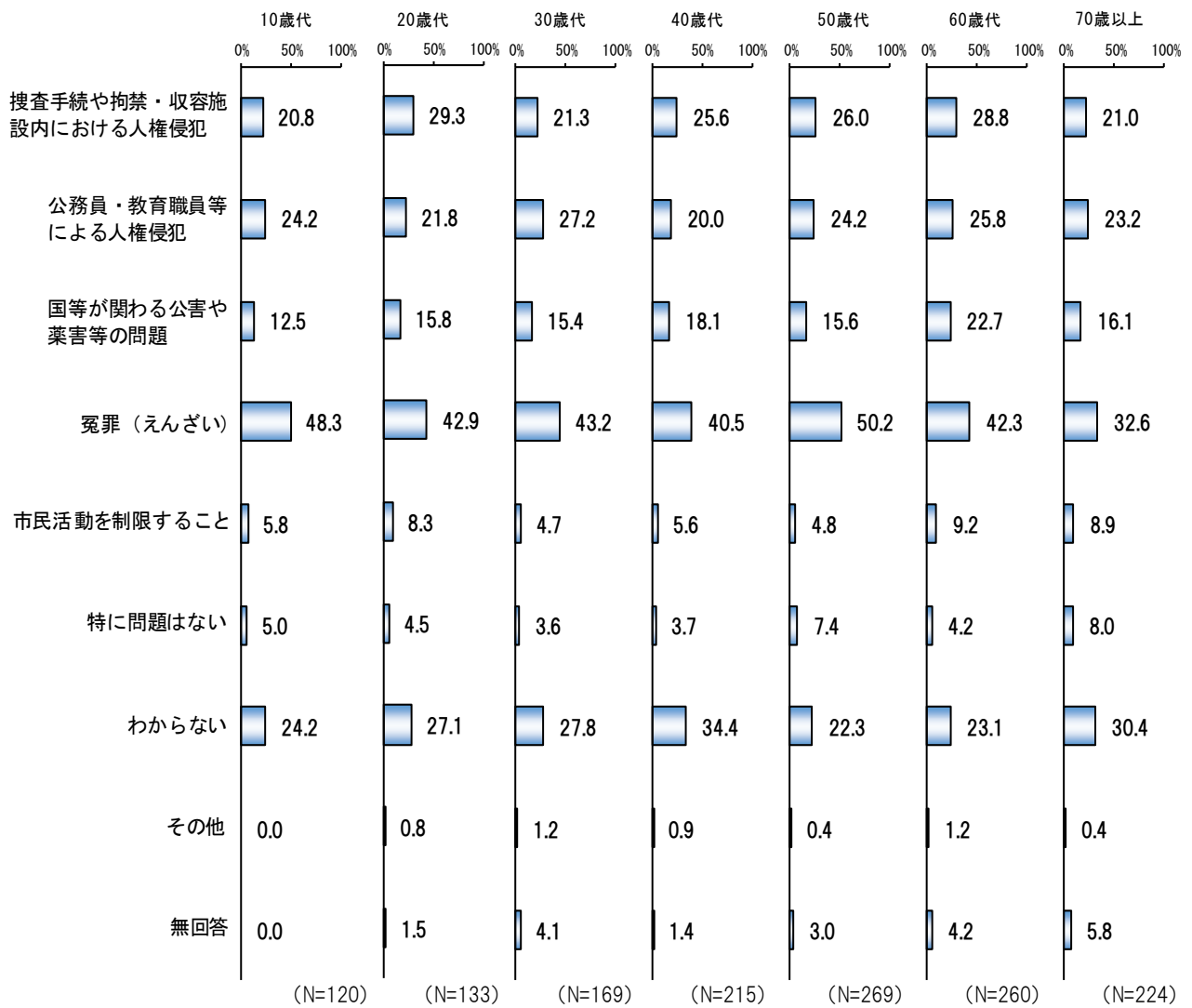


性別で見ると、男女ともに「冤罪(えんざい)」の割合が最も高く、第2位は男性が「捜査手続や拘禁・収容施設内における人権侵犯」、女性が「わからない」、第3位は男女とも「公務員・教育職員等による人権侵犯」となっている。

「わからない」が最も男女差が大きく、男性(21.1%)よりも女性(31.1%)の方が10.0ポイント高くなっている。

# 年齢別集計

(複数回答、単位：%)



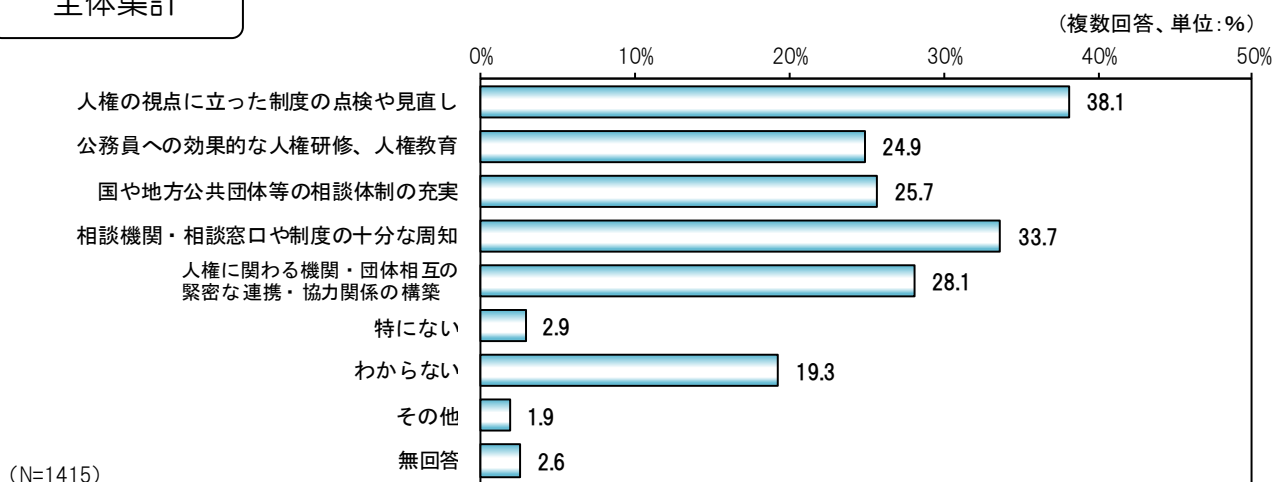
年齢別でみると、すべての年齢層で「冤罪（えんざい）」の割合が最も高くなっている。

## 問7 公権力の行使による人権侵害を防ぐために必要なこと

あなたは、公権力の行使による人権侵害を防ぐためには、人権上特に必要なことはどのようなことだと思いますか。次の中から選んでください。(〇は3つまで)

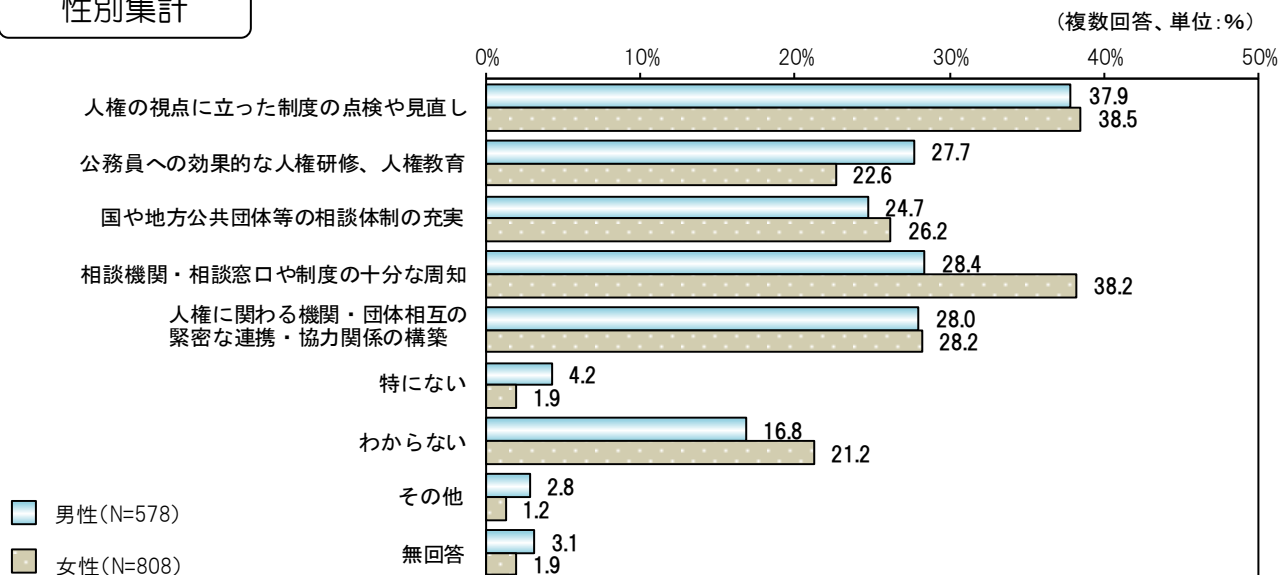
1. 人権の視点に立った制度の点検や見直し
2. 公務員への効果的な人権研修、人権教育
3. 国や地方公共団体等の相談体制の充実
4. 相談機関・相談窓口や制度の十分な周知
5. 人権に関わる機関・団体相互の緊密な連携・協力関係の構築
6. 特にない
7. わからない
8. その他 ( )

### 全体集計



「人権の視点に立った制度の点検や見直し」が38.1%と最も高く、次いで「相談機関・相談窓口や制度の十分な周知」が33.7%、「人権に関わる機関・団体相互の緊密な連携・協力関係の構築」が28.1%となっている。

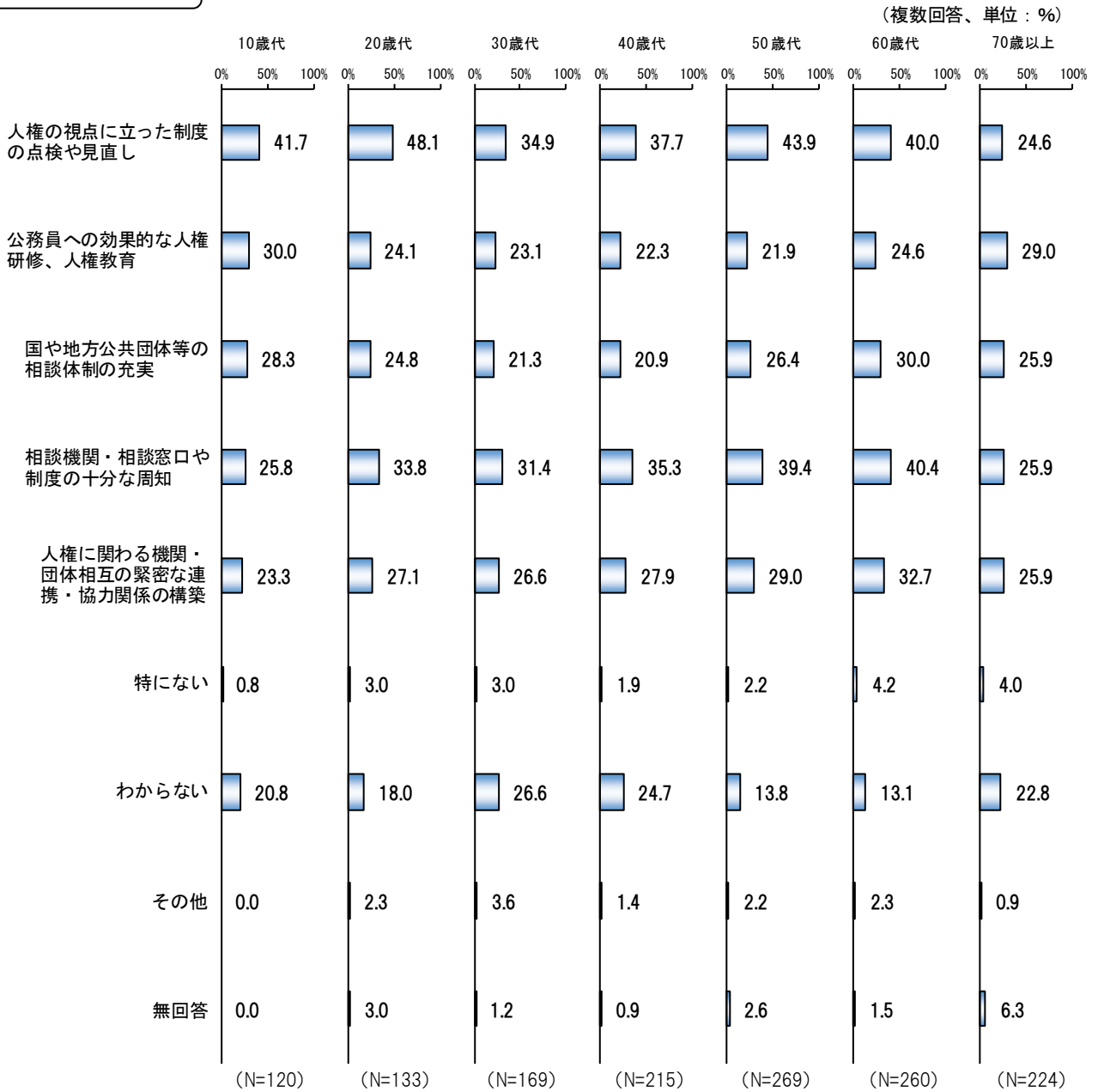
### 性別集計



性別で見ると、男女ともに「人権の視点に立った制度の点検や見直し」の割合が最も高く、次いで「相談機関・相談窓口や制度の十分な周知」、「人権に関わる機関・団体相互の緊密な連携・協力関係の構築」の順となっている。

「相談機関・相談窓口や制度の十分な周知」が最も男女差が大きく、男性(28.4%)よりも女性(38.2%)の方が9.8ポイント高くなっている。

## 年齢別集計



年齢別で見ると、10～50歳代は「人権の視点に立った制度の点検や見直し」、60歳代は「相談機関・相談窓口や制度の十分な周知」、70歳以上は「公務員への効果的な人権研修、人権教育」の割合が最も高くなっている。